

校長通信

第8号 令和6年12月25日

逆取材2

2年生の加藤大智君が校長室を訪れ、漢字検定の合格を報告してくれました。

加藤君は前期の全校集会のあとすぐに校長塾の塾生になりました。既に準2級受検を決めていて問題集も購入していましたが、初めての受検ということで、話し合いの上3級を受検することにしました。

校長塾では、放課後に熟語の構成と部首を中心に学習しました。本校HPにある双葉生限定の漢字検定WEB講座を視聴し、その後にポイントを解説するという流れです。通常の新聞局の活動はもちろん、本番の2週間前は修学旅行、その後の3連休はキャンプがあるため、直前の学習時間が確保できないということで心配されましたが、しっかり合格しました。

「双葉生限定の漢字検定WEB講座のお陰で、見たことのある問題が多かったように思います。家では動画を見てから寝るようにしていました。学校では隙間時間を大切に、時間があると問題集を解きました。今回出来なかった問題の中に、やった問題があったので、ちょっと残念です。」

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	読み	同音同訓異字	漢字識別	熟語の構成	部首	対義語類義語	漢字と送り仮名	四字熟語	誤字訂正	書き取り
配点	1点	2点	2点	2点	1点	2点	2点	2点	2点	2点
目標正解数	27	12	4	8	7	6	3	6	3	12
実正解数	27	13	5	8	9	6	3	5	4	9
目標との差	0	+1	+1	0	+2	0	0	-1	+1	-3

右の表は、入塾時に設定した、各問の目標正解数と実際の正解数を比較したものです。「目標正解数」と「実正解数」が同じだったのが10

の大問の内4つ。四字熟語と書き取りは目標を下回りましたが、同音同訓異字、漢字識別、部首、誤字訂正でカバーし、事前に設定した目標点数と全く同じ点数で合格しました。

漢字検定の学習をするようになって、教科書に出てくる漢字を見ると部首が気になり、熟語を見ると構成が気になるようになりました、とも話していました。次回は準2級に挑戦するそうです。

なお、塾生は現在も募集しています。

再び詐欺メールの話

NTTを騙ったSMSがまた来ました。やはり違和感は「ご説明があります」です。「私どもから、御説明したいことがございます。」ではどうでしょうか。それにしても、番号を知っているはずのNTTの方から電話するのが筋だと思います。

文化庁のHPの敬語を説明したページの中にこのような問題がありました。

第1問：次のような言い方を耳にするけれど、適切でない言い方はどれでしょうか？

(ア) 私のお考えを發表します。(イ) 私はお料理が得意です。

(ウ) 私が御説明をしたいと思います。

適切でないのは(ア)です。「私が御説明をしたいと思います」は謙譲語として認められています。

次のメールは、違和感満載です。「てにをは」を学んでからメールしろ、という感じです。

「12月21日02時00分頃より、〇〇ネットバンクにおける系統金融機関あての振込の一部機能にて不具合が生じた為、ワンタイムパスワード時刻ずれを補正することをを行います。下記のリンクをアクセスし、補正を実行してください。

※補正を実行しない口座に対しては利用制限をかける恐れがございます。

※ワンタイムパスワードを補正の実行後、2・3分待ってからアプリをご利用ください。」

